

地域医療連携だより

# きずな



## 救命救急センター

救急科では、一般的な疾病から3次救急対応が必要な重症病態まで幅広く診療を行っております。神奈川県西地域の皆様が安心できる救急医療を提供できるよう、地域医療機関と連携し日々努力してまいります。

### スタッフ紹介

新



部長

**飯塚 進一**

(いづか しんいち)

日本救急医学会認定救急科専門医・  
指導医、日本外傷学会専門医  
日本外科学会外科専門医  
臨床研修指導医  
湘南メディカルコントロール指示医師

担当部長

**梅鉢 梨真子**

(うめばち りまこ)

日本救急医学会認定救急科専門医  
日本航空医療学会認定指導者  
日本DMAT隊員、産業医  
臨床研修指導医  
湘南メディカルコントロール指示医師

新



担当部長

**福嶋 友一**

(ふくしま ともかず)

日本救急医学会認定救急科専門医  
ICLSコースディレクター  
ICLS指導者養成コースディレクター  
JCMELSディレクター  
日本DMAT隊員、臨床研修指導医  
湘南メディカルコントロール指示医師

医長

**小俣 麻美**

(おまた あさみ)

日本救急医学会認定救急科専門医  
栄養サポート療法士  
臨床研修指導医  
湘南メディカルコントロール指示医師

新



医師

**大新田 訓承**

(おおしんでん のりつぐ)

湘南メディカルコントロール指示医師

### 特色・診療内容

#### ■ 24時間365日体制で救急医療を提供

救急医5名が常勤で勤務し、外科内科系の医師が24時間体制で院内に常駐しています。また、循環器内科、消化器内科、外科、脳神経外科、整形外科、麻酔科、手術室看護師等が24時間オンコール体制で待機しており、迅速な診療及び緊急手術に常時対応いたします。

#### ■ 得意とする疾患

各専門診療科の医師と連携し下記のような疾患に対する迅速な初期対応および、その後の集中治療を行います。

外傷、熱傷、中毒、院外心肺停止、急性冠症候群・急性心不全、脳卒中、急性腹症、  
その他の内因性救急疾患、各種感染症、小児救急医療

※ 出血性ショックから大量輸血が必要になるような外傷や広範囲熱傷など重篤な疾患  
に関しては東海大学医学部付属病院と連携しております。

#### ■ 入院早期からチーム診療

入院中、せん妄や廃用症候群を併発し、疾病や外傷が改善してもすぐに自宅退院ができないことがあります。そのため、入院早期よりリハビリ科や心身医療科、看護部、薬剤部、栄養科と連携しチーム診療を行っております。

#### ■ 消防機関との連携

救急センターの受入れ状況や今後の取り組みなどについて協議する委員会を定期的に開催し、小田原市を含む近隣の消防本部にも参加していただいています。医師、看護師、コメディカルと救急隊が顔を合わせながら情報共有を行うことで、救急医療の地域連携強化に取り組んでいます。また、湘南メディカルコントロール協議会の指示医師として、現場の救急隊に指導や助言を行ったり、定期的に救急救命士の再教育として病院実習を行っています。

#### ■ 災害医療

院外の活動として、災害発生時などは当院事務職員や看護師とともにDMAT (Disaster Medical Assistance Team: 災害派遣医療チーム) を構成し、災害現場での医療活動を行っております。これまでに、関東・東北豪雨やダイヤモンドプリンセス号へのDMAT派遣を行いました。

### 緊急受診の場合

【医療機関専用ダイヤル】

☎ 0465-34-3175 (代表)

月～金(9:00～17:00) ▶ 当院の医師あてに直接お電話ください

夜間・休日 ▶ 救急外来にお電話ください

救急科HP ▶



# 小田原市立病院は県西地域の最後の砦



東海大学医学部附属病院  
教授 守田 誠司

## プロフィール

### 【専門分野】

救命救急科

### 【特に専門とする領域】

重症外傷、重症熱傷、環境障害、IVR、PCPS

### 【専門医資格】

日本救急医学会専門医・指導医  
日本外傷学会専門医  
日本熱傷学会専門医  
(日本外科学会認定医)  
統括DMAT登録者  
東海ER Vascular IVR認定医

今回は、当院の救命救急センター長も務めたこともある東海大学医学部救命救急医学の守田教授にご挨拶をいただきました。

東海大学医学部附属病院の高度救命救急センターは、ドクターヘリや洋上救急のパイオニアとして日本の救急医療に大きく貢献しています。

## ～ご挨拶～

東海大学医学部救命救急医学教授の守田誠司と申します。小田原市立病院は2009年から救命救急センターを設置しておりますが、センターの立ち上げから運用を当科でお手伝いさせて頂き、私も2008年の立ち上げ時期と2014年から5年間に救命センター長として勤務させて頂きました。個人的にも思い入れのある小田原市立病院の救命センターは神奈川県西部の最後の砦となる非常に重要な場所で、当科としても人員派遣のみならず、日頃の連携を強化して盤石な救急医療の提供を心掛けております。また、災害拠点病院としてもDMAT隊員の配備や災害訓練への参加などを行っており、災害においても神奈川県西部の中心的な機能を担っております。



豪雨災害DMAT出動



今後も東海大学医学部附属病院と小田原市立病院が連携して、神奈川県西部の安定的な医療を提供していければと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

## 東海大学医学部附属病院

〒259-1193 伊勢原市下糟屋143  
TEL:0463-93-1121(代表)

高度救命救急センター -公式HP- ▶



## 数字で見る救命救急センター

### 救急搬送患者数

2019年度 5,198人

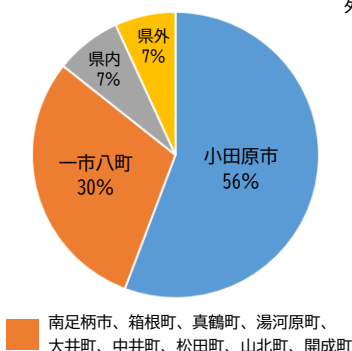
2020年度 4,095人

※2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響により患者数は減少しました。



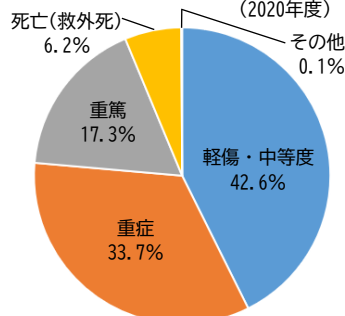
### 搬送者居住地別内訳

(2020年度)



### 重症度内訳

(2020年度)

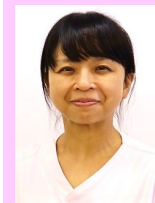


## 私たちが全力で患者さんご家族をサポートします！

私たちは県西地域唯一の救命救急センターに所属し、地域に貢献できる救急医療体制の構築を目指し協働しています。

最善な救急医療を提供するために、病棟や救急外来で緊急度・重症度の高い患者さんご家族への支援を行うのみでなく、看護全体の質の向上のために、看護スタッフへの指導・教育を行っています。

また、一刻を争う現場では医療従事者の個々の技術に加え、それを効果的に発揮することができるチームワークが大切です。私たちは、医療従事者や患者さんご家族などの間に入って、よりよい医療が提供できるような調整役も担っています。



急性・重症患者  
専門看護師  
看護師長  
多田 昌代



救急看護認定  
看護師  
主任看護師  
鈴木 好